

第2回デジタルに関する町民アンケート結果報告

令和6年4月

◎調査目的：DX(デジタル・トランスフォーメーション)を活用した暮らしやすいまちづくりを進めるうえでの基礎資料として活用

- ・デジタル端末利用状況の把握
 - スマホ・タブレット等保有状況
 - 利用機能
 - 利用意向
 - スマートフォン教室参加意向

▶ 前回調査からのデジタル端末利用動向把握

▶ スマホ教室の認知/利用拡大に活用

- ・マイナンバーカード利用状況の把握
 - マイナンバーカード保有状況
 - 利用方法

▶ 町が取組むマイナンバーカードを活用した地方再生モデル構築の施策検討に活用

◎調査内容：情報通信端末の利用実態把握

◎調査期間：令和5年12月～令和6年1月

◎対象者：全世帯（全町民。ただし町内会未加入者は除く）

◎回収状況：回収率は前回調査から4ポイント増加

	回収人数	人口	回収率
第1回(前回)	7,023人	11,309人	62%
第2回(今回)	7,117人	10,716人	66%

第1回：令和4年2～3月に全世帯を対象に調査

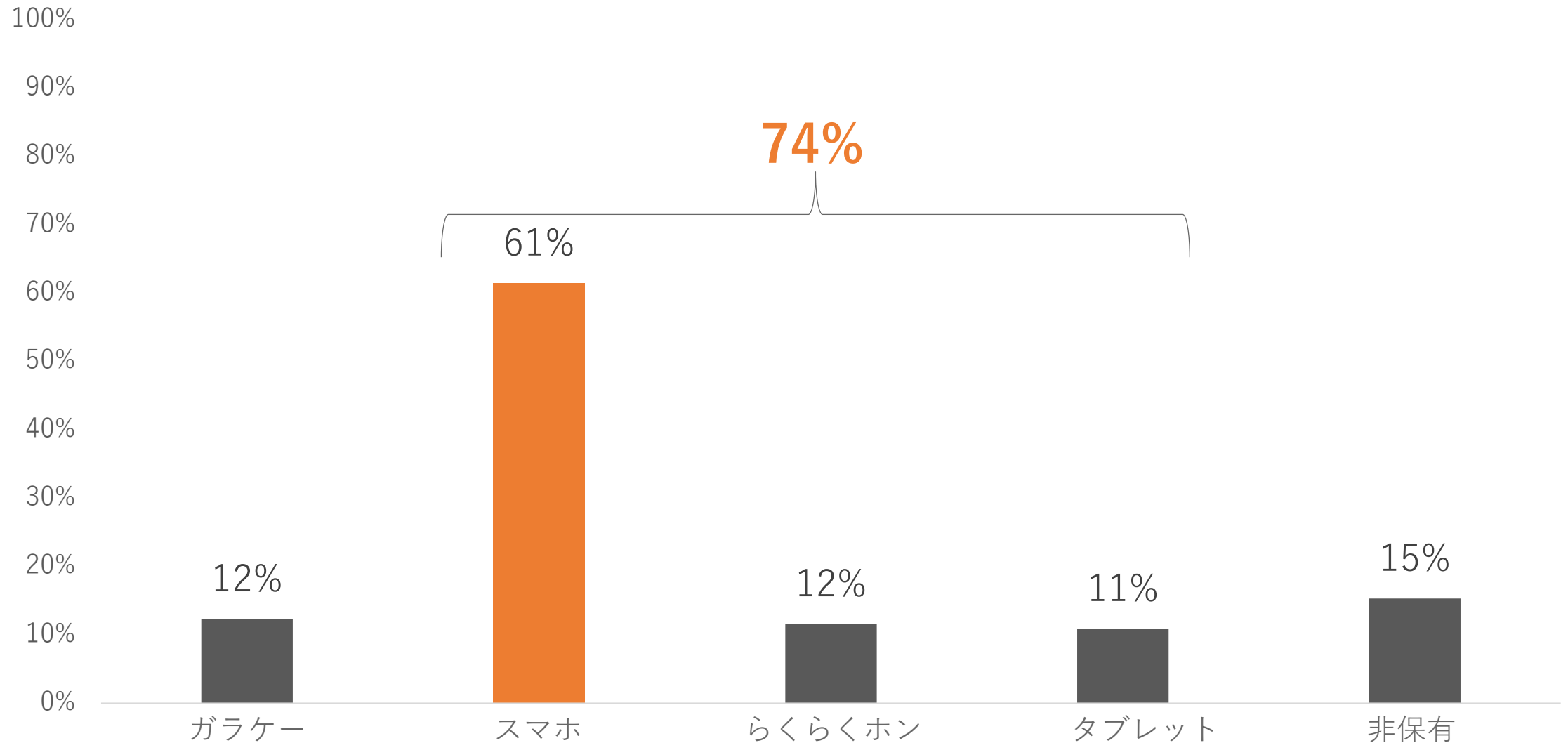
	回収数 (人)	人口	回収率
境	186	364	51%
宮崎	229	387	59%
笹川	170	225	76%
泊1区	597	906	66%
泊2区	1,501	2,298	65%
泊3区	916	1,604	57%
五箇庄	1,123	1,734	65%
南保	466	769	61%
山崎	638	825	77%
大家庄	1,273	1,604	79%

スマホ保有状況

スマホ保有者は61%。

通信端末のうち、スマート端末（スマホ・らくらくホン・タブレット）保有者は74%

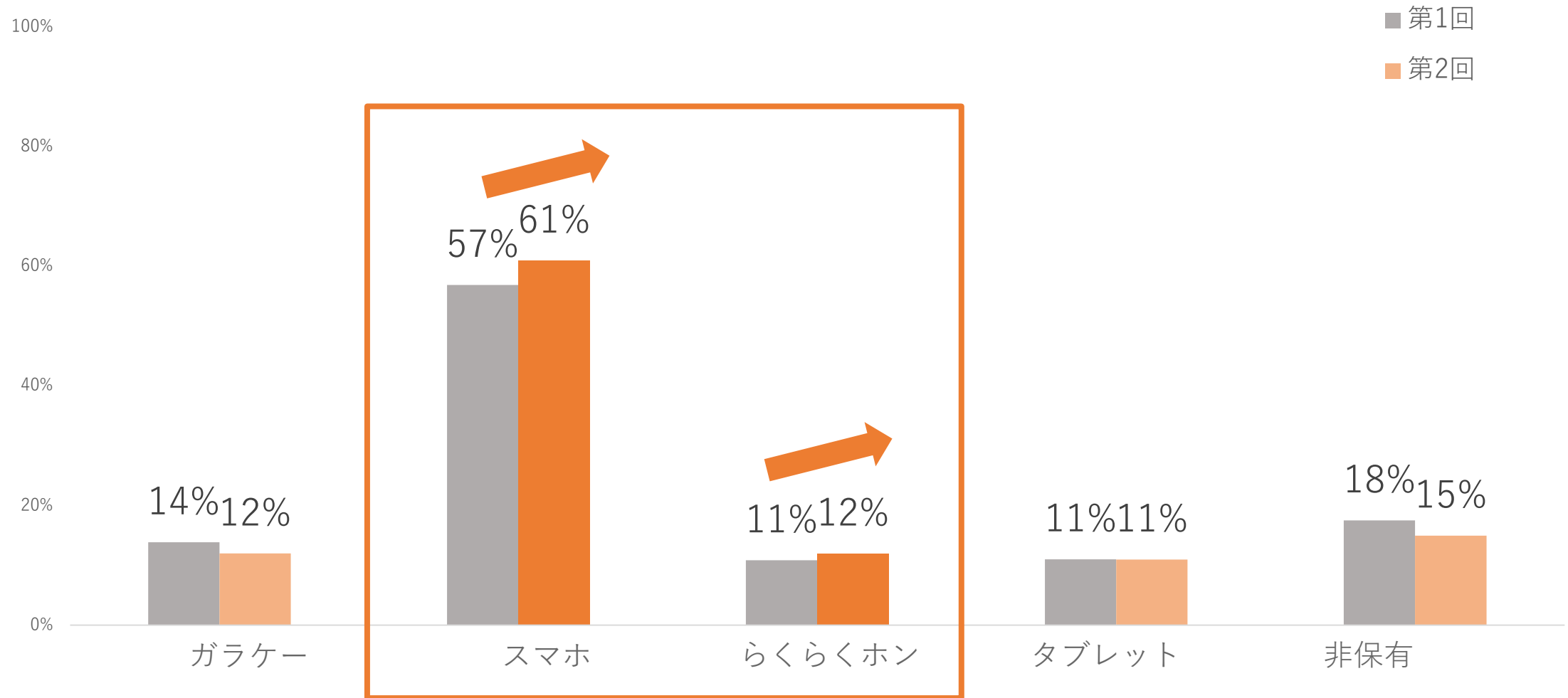
端末保有状況



スマホ保有状況（前回調査との比較）

第1回(令和4年2月)調査と比べて、スマホ・らくらくホン保有者が増加している。

端末保有状況



スマホ保有状況（年代別前回調査との比較）

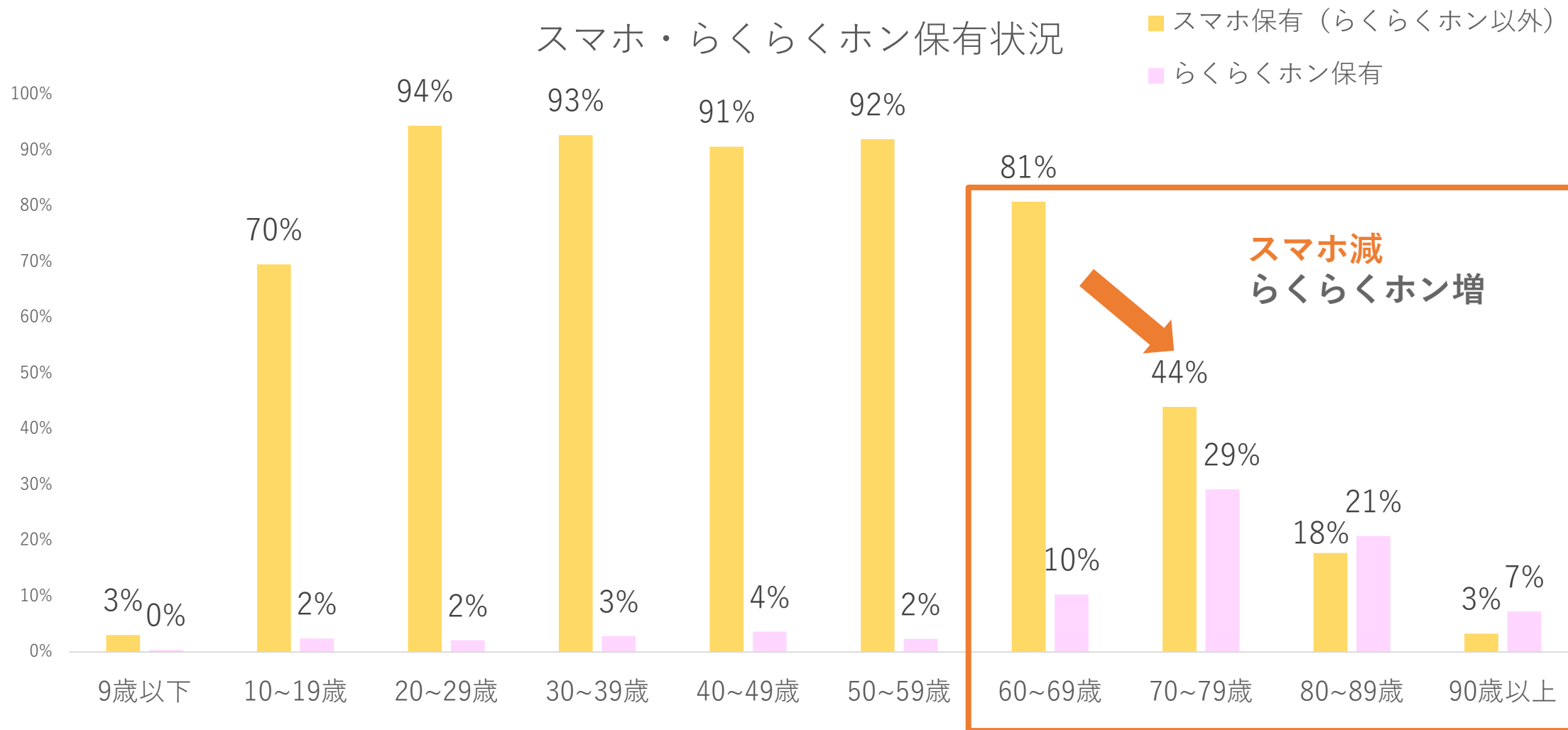
- ・スマホ保有率は、9歳以下を除く年代で保有率が増加。
- ・70代及び80代は、スマート端末保有率が10ポイント以上増加。

	ガラケー保有		スマホ保有 (らくらくホン以外)		らくらくホン保有		タブレット保有		端末非保有		スマート端末(スマホ・ らくらくホン・タブレット のいずれか)保有	
	第1回	第2回	第1回	第2回	第1回	第2回	第1回	第2回	第1回	第2回	第1回	第2回
9歳以下	2%	2%	7%	3%	1%	0%	9%	11%	84%	83%	14%	14%
10~19歳	3%	2%	68%	70%	2%	2%	19%	18%	19%	16%	79%	81%
20~29歳	2%	2%	91%	94%	5%	2%	11%	14%	2%	1%	97%	97%
30~39歳	4%	4%	92%	93%	2%	3%	18%	15%	2%	2%	97%	97%
40~49歳	5%	6%	86%	91%	7%	4%	16%	16%	3%	1%	94%	95%
50~59歳	6%	5%	86%	92%	4%	2%	14%	15%	3%	2%	93%	95%
60~69歳	11%	8%	74%	81%	11%	10%	12%	13%	4%	3%	87%	91%
70~79歳	28%	20%	34%	44%	26%	29%	7%	7%	14%	9%	61%	73%
80~89歳	33%	32%	12%	18%	15%	21%	4%	3%	38%	32%	29%	39%
90歳以上	15%	20%	1%	3%	7%	7%	1%	1%	77%	73%	8%	9%

スマホ・らくらくホン保有状況（年代別）

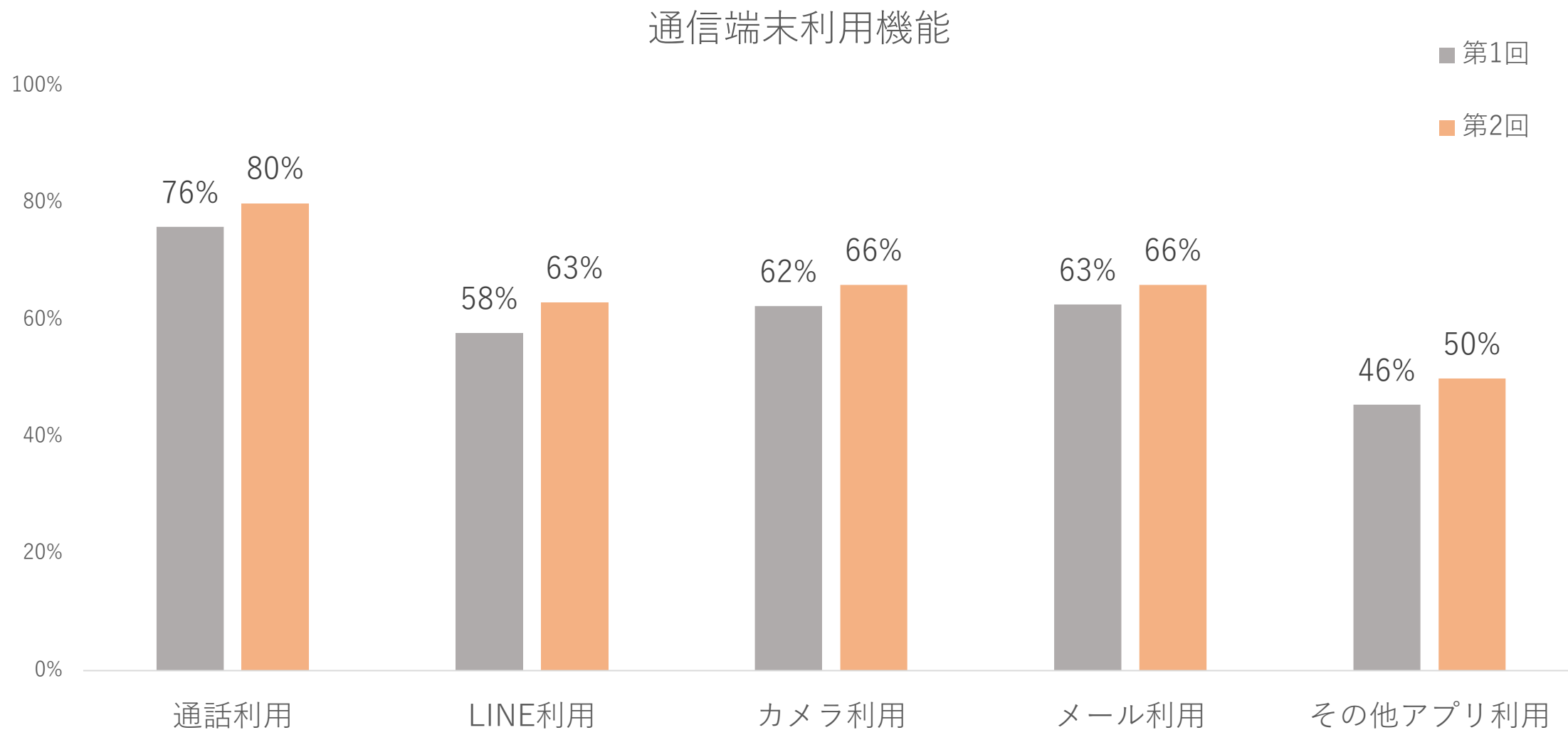
10代から70代までのスマホ保有者は7割以上。

70代になると大幅に減少し、代わりにらくらくホンユーザーが増加。



利用機能（前回調査との比較）

第1回(令和4年2月)と比べて、いずれも使用率が上昇している。



利用機能（年代別前回調査との比較）

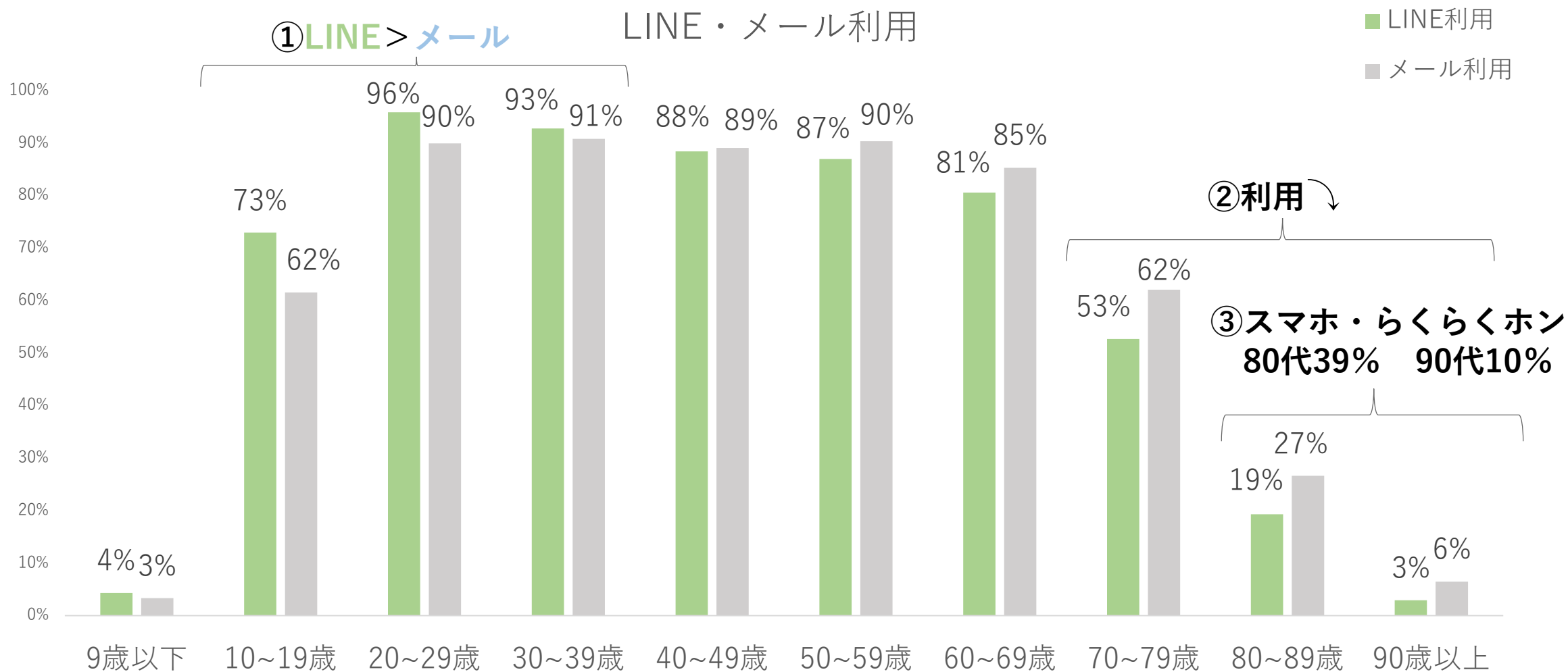
60代と70代のLINE利用率は、前回調査から10ポイント以上増加している。

	通話利用		LINE利用		カメラ利用		メール利用		その他アプリ利用	
	第1回	第2回	第1回	第2回	第1回	第2回	第1回	第2回	第1回	第2回
9歳以下	9%	5%	8%	4%	11%	10%	7%	3%	8%	13%
10~19歳	70%	71%	69%	73%	68%	71%	62%	62%	61%	67%
20~29歳	93%	97%	90%	96%	88%	90%	86%	90%	79%	81%
30~39歳	94%	95%	90%	93%	86%	89%	91%	91%	76%	80%
40~49歳	90%	96%	83%	88%	83%	88%	82%	89%	69%	80%
50~59歳	91%	96%	82%	87%	82%	86%	85%	90%	68%	75%
60~69歳	92%	95%	71%	81%	77%	83%	80%	85%	55%	64%
70~79歳	79%	86%	42%	53%	56%	62%	57%	62%	24%	32%
80~89歳	53%	63%	16%	19%	26%	29%	24%	27%	10%	8%
90歳以上	20%	27%	3%	3%	7%	9%	4%	6%	1%	2%

LINE・メール利用機能（年代別）

9

- ①10代から30代までは、LINE利用がメール利用を上回る。
- ②70代以降はLINE・メール利用とも下降幅が大きくなる。
- ③80・90代のスマホ及びらくらくホン保有者は、80代は計39%、90代は計10%。
→保有者の半数以上がLINEを利用していない。



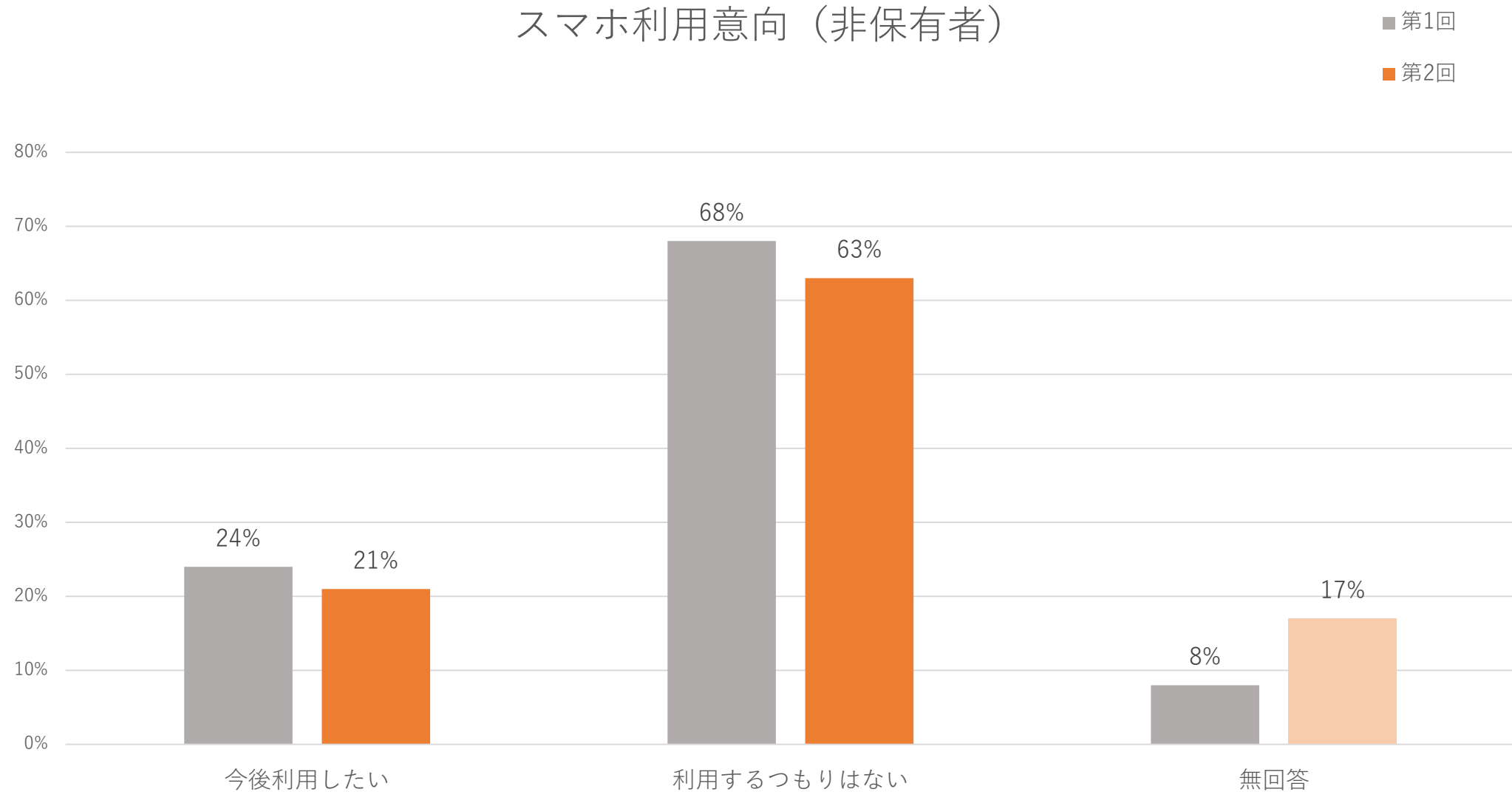
スマホ保有状況とLINE利用状況（比較）

高年層におけるスマート端末保有状況とLINE利用率は、年代が高くなるにつれて差が開いてくる。

保有端末(年代別)									利用機能	
	スマホ		らくらくホン		タブレット		スマート端末		LINE	
	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回
9歳以下	7%	3%	1%	0%	9%	11%	14%	14%	8%	4%
10～19歳	68%	70%	2%	2%	19%	18%	79%	81%	69%	73%
20～29歳	91%	94%	5%	2%	11%	14%	97%	97%	90%	96%
30～39歳	92%	93%	2%	3%	18%	15%	97%	97%	90%	93%
40～49歳	86%	91%	7%	4%	16%	16%	94%	95%	83%	88%
50～59歳	86%	92%	4%	2%	14%	15%	93%	95%	82%	87%
60～69歳	74%	81%	11%	10%	12%	13%	87%	91%	71%	81%
70～79歳	34%	44%	26%	29%	7%	7%	61%	73%	42%	53%
80～89歳	12%	18%	15%	21%	4%	3%	29%	39%	16%	19%
90歳以上	1%	3%	7%	7%	1%	1%	8%	9%	3%	3%

スマホ利用意向（前回調査との比較）

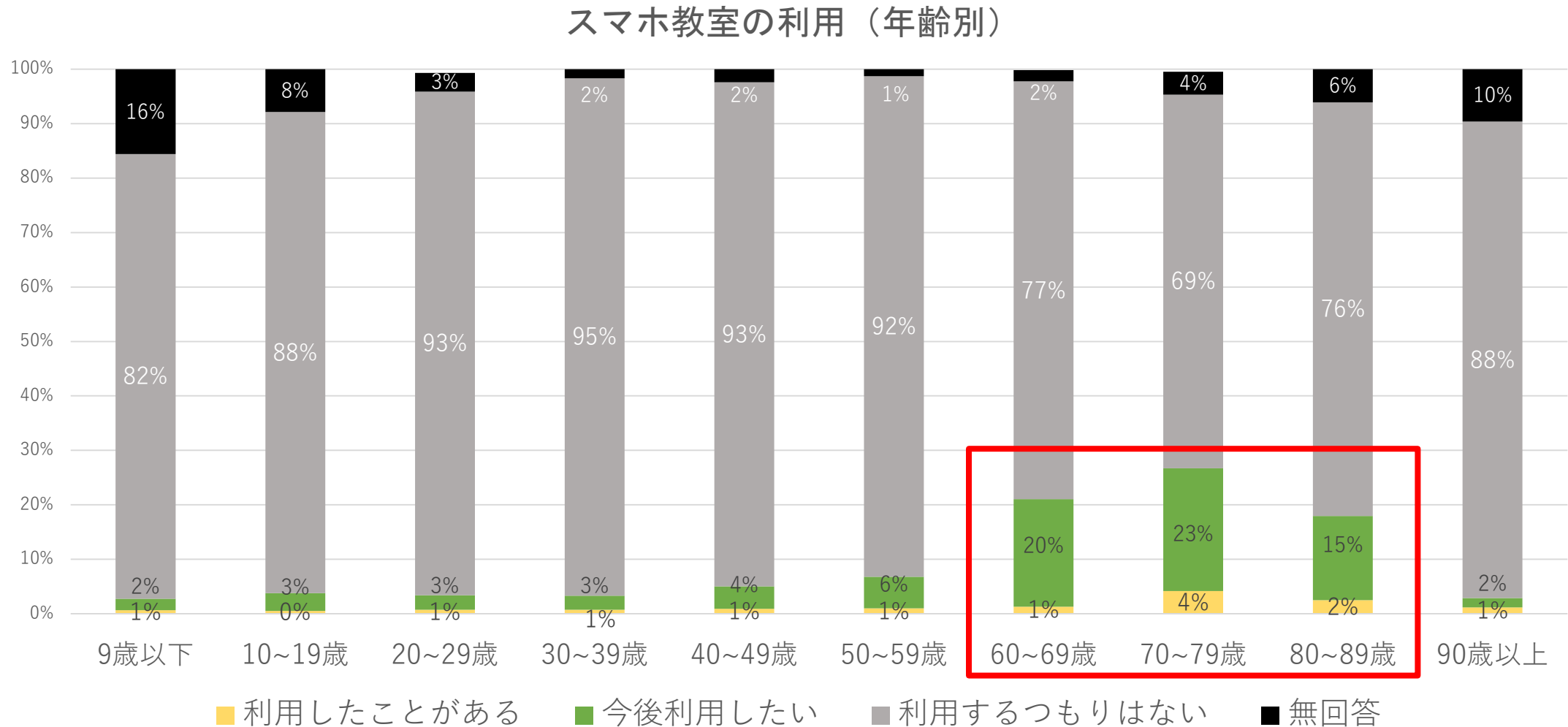
11



町が開催するスマートフォン教室の利用（年代別）

12

60代～80代で「**利用したことがある**」「**今後利用したい**」割合が高くなる。



スマートフォン教室で受けてみたい講座（年代別）

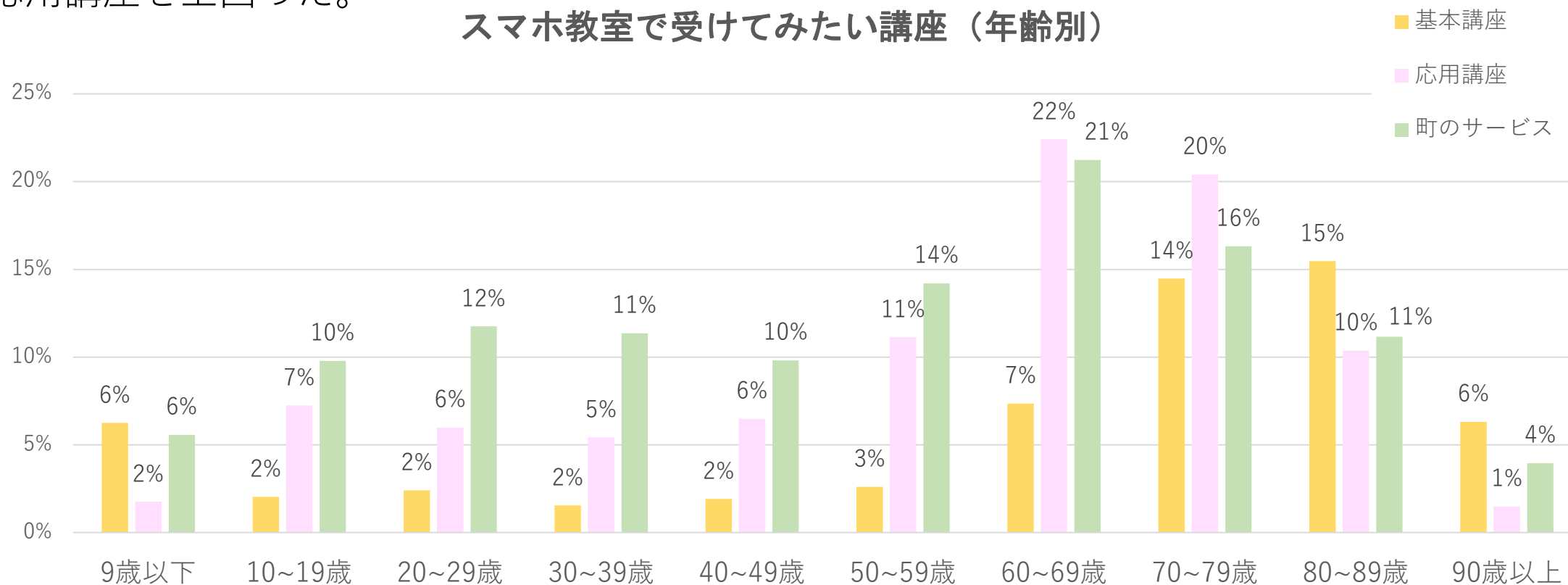
13

「**基本講座**」 80代にかけて受けてみたいと回答した方が多かった。

「**応用講座**」 60代・70代の5人に1人が受講したいと回答した。

「**町のサービス**」 10代から50代までは「**町のサービス**」を受講したいと回答した方が基本・応用講座を上回った。

スマホ教室で受けてみたい講座（年齢別）



講座
内容

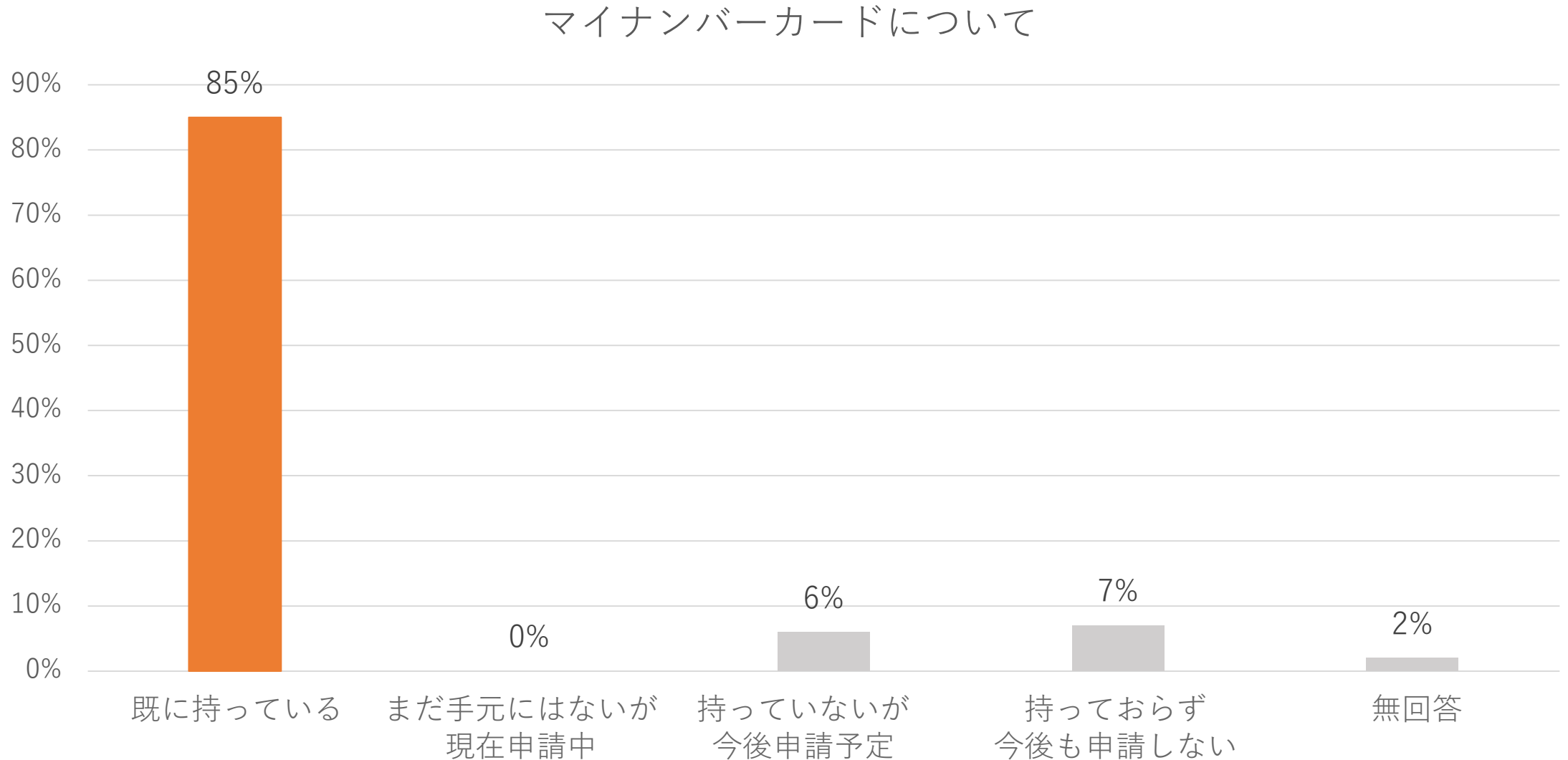
- ・ **基本講座**：基本的な使い方の講座（電話のかけ方、カメラの使い方等）
- ・ **応用講座**：スマホを使いこなす応用講座（お薬管理、お天気アプリ等）
- ・ **町のサービス**：スマホで町のサービスを利用する方法（ノックルやコロナワクチンの予約方法、町LINEの使い方等）

マイナンバーカードについて

14

85%が「既に持っている」と回答

※当調査は回答を年代別男女ごとに按分し集計していることから、総務省が発表する保有率とは異なる。



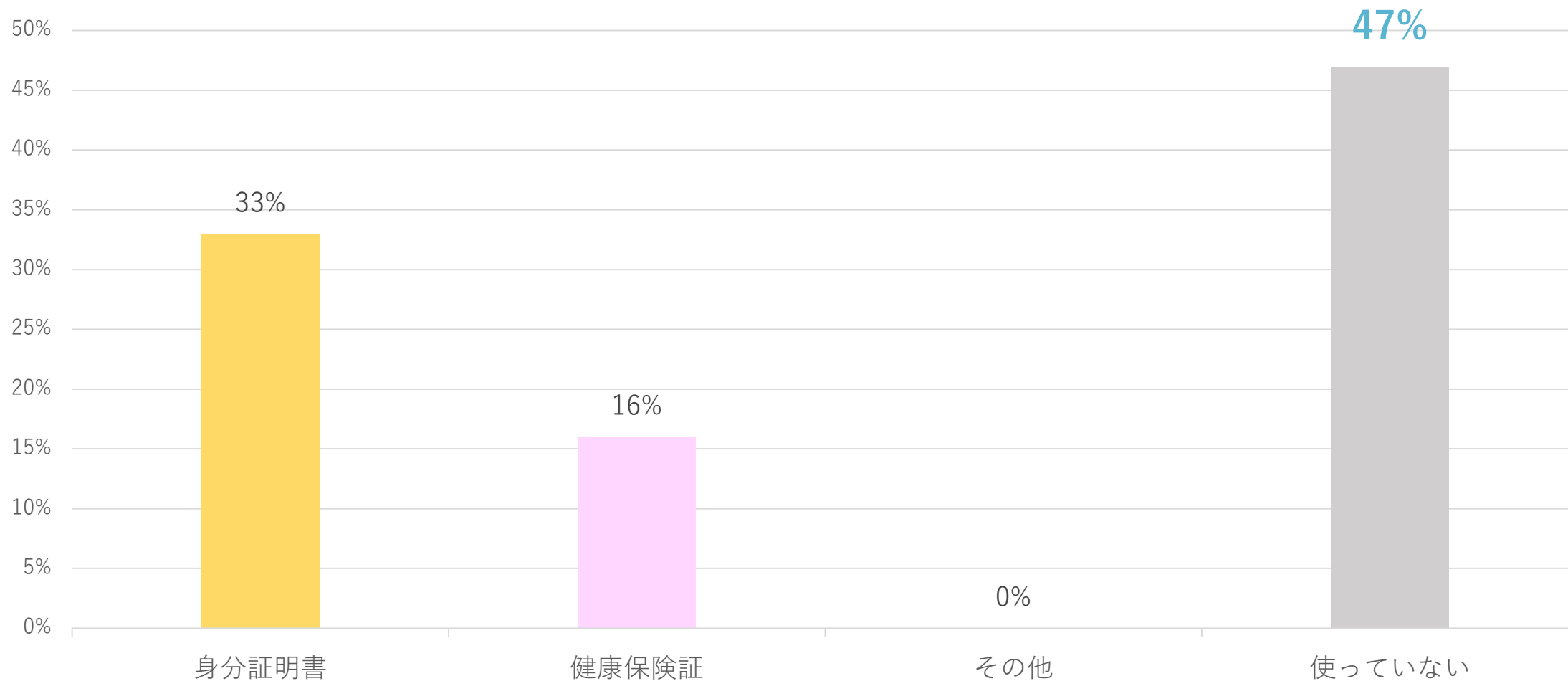
マイナンバーカード使用方法

15

保有者のうち、およそ半数が「使っていない」と回答。

※調査期間はLoCoPiあさひまちサービス開始前

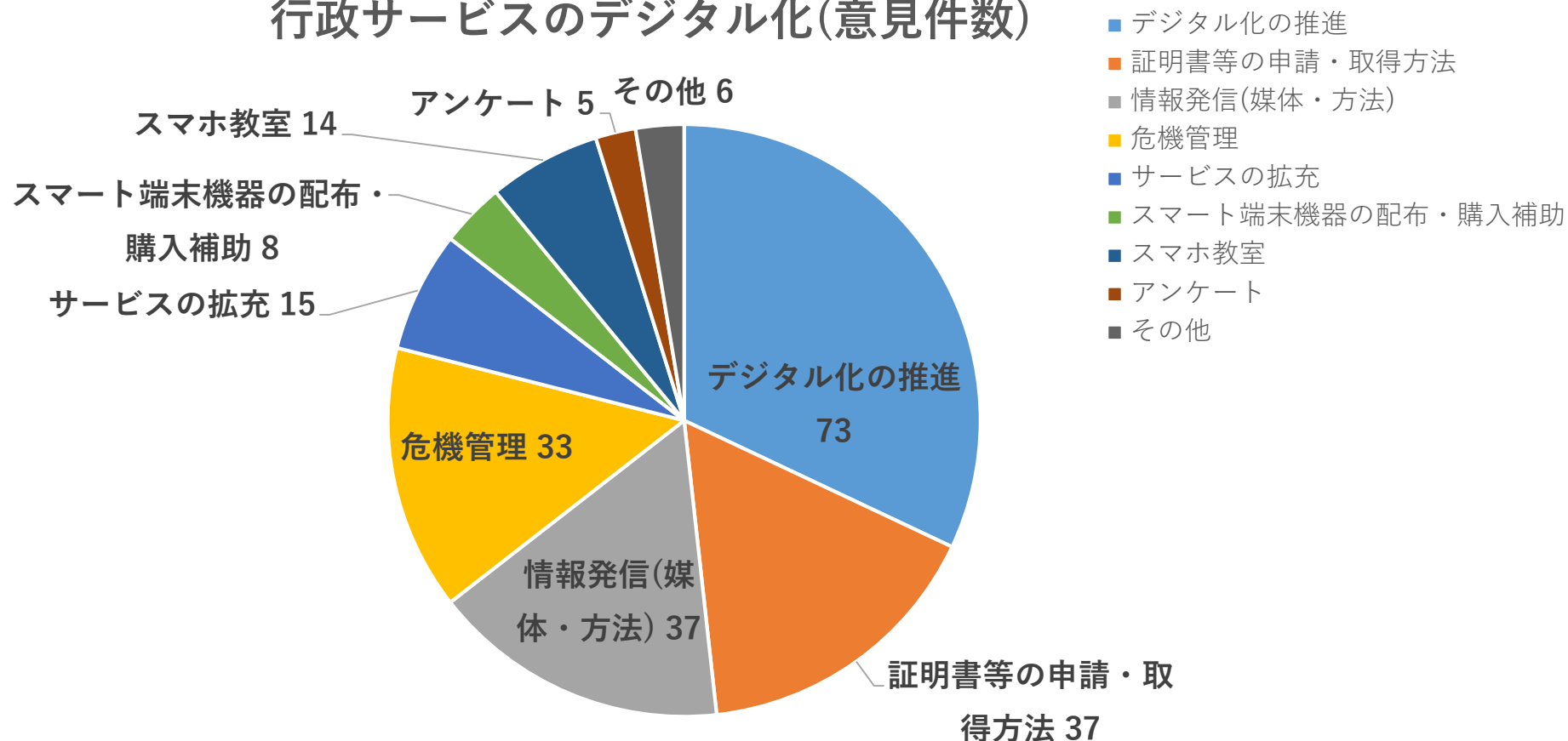
マイナンバーカード使用方法



町ではLINEから住民票や税証明書などが取得できるサービスの開始など、デジタルを活用した行政サービスの拡充に取り組んでいることから、行政サービスのデジタル化に関する意見・要望の自由記述欄を設けたところ、228件の意見があった。

寄せられた意見は、「デジタル化の推進」「証明書等の申請・取得方法」「情報発信(媒体・方法)」「危機管理」「サービスの拡充」「スマート端末機器の配布・購入補助」「スマホ教室」「アンケート」「その他」に分類した。

行政サービスのデジタル化(意見件数)



デジタル端末利用状況の把握

- スマホ保有者は61%。
いずれかのスマート端末保有者は74%。
- 70代と80代のスマート端末保有率は、前回から10ポイント以上増加している。
- スマート端末保有者は70代以降で一気に減少する。
- LINE利用率は20代の96%をピークに徐々に下降。
- 60代と70代のLINE利用率は前回調査から10ポイント以上増加している。
- 高年層におけるスマート端末保有状況とLINE利用率は、年代が高くなるにつれて差が開いてくる。



前回調査よりスマート端末利用者が増加していることを確認



保有率の低さ及び前回調査からの増加率から、高齢者の保有率は今後とも増加することが見込まれる



高齢者はスマート端末を保有していても若年層・中年層と比べて活用できていない可能性がある。

デジタル端末利用状況の把握

■60代から80代でスマホ教室を「利用したことがある」「今後利用したい」と回答した割合が高くなる。

■高齢層のスマート端末保有状況とLINE利用率の差は、若年層・中年層と比べて開いていることから、スマート端末を保有していてもLINEを利用していない高齢者が多いことが分かる。



LINE活用やデジタル活用全般に一定の受容性を確認した一方で、高齢者を対象としたスマート端末やLINEについて学ぶ場の提供は重要（スマホ教室やデジタルよろず相談の拡充等）

マイナンバーカード利用状況の把握

■保有者のうち47%は使用していない。



LoCoPiあさひまちがマイナンバーカードを利用するきっかけになると期待

行政サービスのデジタル化

■寄せられた意見

- デジタル活用が優先され、活用できない高齢者等が取り残されるのではないかと不安。
- 平日は仕事等により役場へ行くことが難しいことから、証明書等をオンラインで受け取れるサービスを拡充してほしい。
- 町内回覧物のデジタル化、配信、デジタル回覧板の導入を検討してほしい。
- 朝日町公式LINEで、火災の発生や道路の通行止めなど色々な情報がほしい。
- 個人情報漏洩が心配。
- LINEを使いたくない我々はサービスを受けられないのか。他のサービスも検討してほしい。
- サービスの拡充（離れて暮らす家族への連絡、デジタル診療、あさひ総合病院の受診予約、デジタル商品券、電子図書館、フリーWi-Fiのエリア拡大、充電ステーションの設置等）
- スマートフォンの購入に対する補助金制度を創設したり、タブレット端末を全戸配布してほしい。
- 平日は仕事がありスマホ教室に参加できない。YouTube等で行政サービスの便利な使い方を動画で流してみてもどうか。



今後、広報あさひや町ホームページ等で寄せられた意見に回答していく。

保有している通信端末		
	第1回	第2回
ガラケー保有	14%	12%
スマホ保有（らくらくホン以外）	57%	61%
らくらくホン保有	11%	12%
タブレット保有	11%	11%
端末非保有	18%	15%
スマート端末保有	70%	74%

通信端末利用機能		
	第1回	第2回
通話利用	76%	80%
LINE利用	58%	63%
カメラ利用	62%	66%
メール利用	63%	66%
その他アプリ利用	46%	50%

スマホ利用意向（非保有者）		
	第1回	第2回
今後利用したい	24%	21%
利用するつもりはない	68%	63%
無回答	8%	17%

マイナンバーカードについて		
	第1回	第2回
既に持っている		85%
まだ手元にはないが現在申請中		0%
持っていないが今後申請予定		6%
持っておらず今後も申請しない		7%
無回答		2%

マイナンバーカード使用方法		
	第1回	第2回
身分証明書		33%
健康保険証		16%
その他		0%
使っていない		47%

スマホ教室の利用意向		
	第1回	第2回
利用したことがある		2%
今後利用したい		11%
利用するつもりはない		82%
無回答		4%

Fin
